# 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年8月3日

上場会社名 日本水産株式会社 上場取引所

コード番号

1332

URL https://www.nissui.co.jp

表 者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 的埜 明世

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画IR部長

(氏名) 広井 洋一郎

(TEL) 03-6206-7057

四半期報告書提出予定日

2020年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無

:有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利	益	経常利	益	制会社株主 する四半期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	162, 254	△6.8	4, 251	△25.5	4, 952	△18.4	3, 189	△11.9
2020年3月期第1四半期	174, 143	△0.3	5, 704	△23. 7	6, 067	△26. 2	3, 619	△30.9
(注) 包括利益 2021年3月期	包括利益 2021年3月期第1四半期		万円(△56.2	%) 2020	年3月期第1日	四半期	3.703百万円	$(\Delta 6.8\%)$

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円銭
2021年3月期第1四半期	10. 25	_
2020年3月期第1四半期	11. 63	_

### (2) 連結財政状態

( = /						
	総資産	純資産	自己資本比率			
	百万円	百万円	%			
2021年3月期第1四半期	496, 893	172, 094	30. 8			
2020年3月期	491, 533	172, 300	31. 2			

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 153,183百万円 2020年3月期 153,152百万円

## 2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末							
	円銭	円 銭	円 銭	円 銭	円銭			
2020年3月期	_	4. 00	_	4. 50	8. 50			
2021年3月期	_							
2021年3月期(予想)		4. 00	_	4. 50	8. 50			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高 営業利益		利益	経常利益		親会社株 する当期	主に帰属 明純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	670, 000	△2.9	19,000	△16.8	21, 500	△16.7	15, 000	1.6	48. 21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名) 、除外 —社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

## (4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	312, 430, 277株	2020年3月期	312, 430, 277株
2021年3月期1Q	1, 289, 372株	2020年3月期	1, 289, 063株
2021年3月期1Q	311, 141, 123株	2020年3月期1Q	311, 145, 729株

(注) 当社は、第104期より業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、当該信託が保有する 当社株式 (期末自己株式数330,500株、期中平均株式数330,500株)を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控 除する自己株式数に含めております。

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断している一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

• 決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報
(1) 経営成績に関する説明
(2) 財政状態に関する説明
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記
(1) 四半期連結貸借対照表6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書8
四半期連結損益計算書8
四半期連結包括利益計算書
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
(セグメント情報等)

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受け、企業収益・雇用環境とも急激に悪化しました。また、緊急事態宣言下の休業要請や外出自粛により、個人消費も大きく落ち込みました。

世界経済(連結対象期間 1-3 月)につきましても、2 月下旬から新型コロナウイルスの影響が徐々に顕在化し、3 月には米国や欧州各国で非常事態宣言やロックダウンが実施されたことなどにより、企業収益や個人消費が急激に落ち込みました。

当社および当社グループにつきましては、外出自粛により家庭内消費が増加したことで、家庭用食品の販売は国内・海外とも堅調に推移しましたが、外食・観光需要は急減しホテル・レストラン向け水産品・業務用食品の販売が減少、需要減により水産市況も悪化しました。また、コンビニエンスストア向け商品の売上にも影響しました。

新型コロナウイルスへの対応につきましては、感染拡大防止のため「在宅勤務」「WEB会議」などを組合せし、「3つの密」にならない働き方を実施しております。また、生活に大きな影響を受けた方や、最前線で医療に従事されている方々に対し缶詰の提供など支援を行っています。今後も感染防止対策を徹底し、お取引先様や従業員の安全確保に努め、食品の生産・供給責任を果たしていくとともに、支援活動についても引き続き検討・実施してまいります。

このような状況下で当第1四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は1,622億54百万円(前年同期比118億88百万円減)、営業利益は42億51百万円(前年同期比14億53百万円減)、経常利益は49億52百万円(前年同期比11億14百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億89百万円(前年同期比4億29百万円減)となりました。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
2021年3月期 第1四半期	162, 254	4, 251	4, 952	3, 189
2020年3月期 第1四半期	174, 143	5, 704	6, 067	3, 619
前年同期増減	△11,888	△1, 453	△1, 114	△429
前年同期比	93. 2%	74. 5%	81.6%	88. 1%

セグメント別の概況は次の通りであります。

(単位:百万円)

						(中匹:口刀口)
	売上高	前年同期増減	前年同期比	営業利益	前年同期増減	前年同期比
水産事業	64, 945	△5, 253	92. 5%	2, 024	△1,012	66. 7%
食品事業	84, 060	△3, 947	95. 5%	3, 093	△239	92. 8%
ファイン事業	5, 466	△1, 148	82.6%	295	△247	54. 4%
物流事業	4, 161	2	100. 1%	435	188	176. 3%
その他 (注)	3, 619	△1, 542	70. 1%	181	77	175. 3%
全社経費	_	_	-%	△1,779	△219	114. 1%
合計	162, 254	△11,888	93. 2%	4, 251	△1, 453	74. 5%

(注) 「その他」: エンジニアリング(工場・設備機器の企画・設計・施工等)事業、船舶運航事業等。

#### (1) 水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

<当第1四半期連結累計期間の概況>

水産事業では売上高は649億45百万円(前年同期比52億53百万円減)となり、営業利益は20億24百万円(前年同期比10億12百万円減)となりました。

#### 漁撈事業:前年同期比で増収、増益

#### 【日本】

・魚価は軟調に推移したものの、いわし・ぶりの漁獲が順調に推移したことにより増収・増益となりました。

### 養殖事業:前年同期比で減収、減益

#### 【日本】

・昨年まで苦戦した鮭鱒の養殖成績は改善しましたが、外出自粛による外食・観光需要の減少と販売価格下落に より減収・減益となりました。

#### 【南米】

・鮭鱒は、減産による販売数量減少に加え、販売価格下落や在池魚評価(注1)のマイナス影響があり減収・減益となりました。

## 加工・商事事業:前年同期比で減収、減益

#### 【日本】

・すりみの販売数量減少、鮭鱒の販売価格下落もあり減収・減益となりました。

#### 【北米】

・すけそうだらのすりみやフィレの販売数量減少、人件費などのコスト増があり減収・減益となりました。

#### 【欧州】

・ロックダウンにより3月から外食やクルーズ船向けの販売が急激に減少し減収・減益となりました。

## (2) 食品事業

食品事業につきましては、加工事業およびチルド事業を営んでおります。

<当第1四半期連結累計期間の概況>

食品事業では売上高は840億60百万円(前年同期比39億47百万円減)となり、営業利益は30億93百万円(前年同期比2億39百万円減)となりました。

## 加工事業:前年同期比で減収、増益

・国内・海外とも外出自粛により外食・観光需要が減少し業務用食品の販売に影響がありましたが、家庭用食品 (冷凍食品・チルド商品)の販売が堅調に推移し増益となりました。

## チルド事業:前年同期比で減収、減益

・在宅勤務の増加や観光需要減少により人出が大きく減り、コンビニエンスストア向け商品の受注が減少したため減収・減益となりました。

#### (3) ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬原料、機能性原料(注2)、機能性食品(注3)、および診断薬、検査薬などの生産・販売を行っております。

<当第1四半期連結累計期間の概況>

ファイン事業では売上高は54億66百万円(前年同期比11億48百万円減)となり、営業利益は2億95百万円(前年同期 比2億47百万円減)となりました。

## 【医薬原料、機能性原料、機能性食品】

・医薬原料の販売が減少したことにより減収・減益となりました。

#### 【診断薬、検査薬】

・外食需要減少などの影響を受け食品企業向け検査薬の販売が減少しました。また、医薬事業の売却を実施した こともあり減収・減益となりました。

#### (4) 物流事業

物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。

<当第1四半期連結累計期間の概況>

物流事業では売上高は41億61百万円(前年同期比2百万円増)となり、営業利益は4億35百万円(前年同期比1億88百万円増)となりました。

- ・前年の退職給付に関わるコスト増が無くなり増益となりました。
- (注1) 国際財務報告基準(IFRS)に基づき出荷・販売前の養殖魚(在池魚)の公正価値評価を行ない、営業損益 に計上しているもの。
- (注2) サプリメントの原料や乳児用粉ミルク等に添加する素材として使用されるEPA・DHAなど。
- (注3) 主に通信販売している特定保健用食品「イマークS」やEPA・DHA などのサプリメント。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債、及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減
流動資産	253, 115	260, 737	7, 621
(うち たな卸資産)	131, 053	131, 180	127
固定資産	238, 417	236, 155	△2, 262
資産合計	491, 533	496, 893	5, 359
流動負債	196, 895	187, 146	△9, 748
固定負債	122, 337	137, 652	15, 314
負債合計	319, 233	324, 799	5, 566
純資産合計	172, 300	172, 094	△206

## 資産

資産合計は前連結会計年度末に比べて53億59百万円増の4,968億93百万円(1.1%増)となりました。

流動資産は76億21百万円増の2,607億37百万円(3.0%増)となりました。前期末に引き続き、新型コロナウイルス対策として手許資金の確保を行ったため、現金及び預金が52億32百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は22億62百万円減の2,361億55百万円(0.9%減)となりました。グループ会社の売却などにより、有 形固定資産が13億30百万円減少したことが主な要因です。

#### 負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて55億66百万円増の3,247億99百万円(1.7%増)となりました。

流動負債は97億48百万円減の1,871億46百万円(5.0%減)となりました。長期借入金を調達し短期借入金を返済したため、短期借入金が102億54百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は153億14百万円増の1,376億52百万円(12.5%増)となりました。流動負債の減少要因に記載の通り、 長期借入金が146億18百万円増加したことが主な要因です。

#### 純資産

純資産合計は前連結会計年度末に比べて2億6百万円減少し、1,720億94百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益を31億89百万円計上したこと、剰余金の配当を14億2百万円行ったこと、円高が進み為替換算調整勘定が25億8百万円減少したことが主な要因です。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 2020年5月20日に公表の業績予想については変更ありません。

# 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27, 371	32, 604
受取手形及び売掛金	79, 962	80, 010
商品及び製品	68, 300	68, 495
仕掛品	28, 740	28, 902
原材料及び貯蔵品	34, 012	33, 783
その他	15, 032	17, 217
貸倒引当金	△303	△275
流動資産合計	253, 115	260, 737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	61, 515	62, 490
その他(純額)	86, 526	84, 220
有形固定資産合計	148, 042	146, 711
無形固定資産		
のれん	669	599
その他	9, 690	9, 511
無形固定資產合計	10, 360	10, 111
投資その他の資産		
投資有価証券	65, 258	65, 132
その他	19, 567	18, 969
貸倒引当金	△4, 810	△4, 767
投資その他の資産合計	80, 015	79, 333
固定資産合計	238, 417	236, 155
資産合計	491, 533	496, 893

(単位:百万円)

		(単位:日刀円)
	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35, 476	36, 210
短期借入金	120, 877	110, 623
未払法人税等	2, 119	977
未払費用	23, 280	22, 306
引当金	3, 742	1, 547
その他	11, 398	15, 480
流動負債合計	196, 895	187, 146
固定負債		
長期借入金	100, 361	114, 979
引当金	146	126
退職給付に係る負債	12, 450	12, 434
その他	9, 380	10, 112
固定負債合計	122, 337	137, 652
負債合計	319, 233	324, 799
純資産の部		
株主資本		
資本金	30, 685	30, 685
資本剰余金	21, 621	21, 623
利益剰余金	96, 237	97, 911
自己株式	△474	△475
株主資本合計	148, 069	149, 746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8, 839	10, 101
繰延ヘッジ損益	264	△229
為替換算調整勘定	186	△2, 322
退職給付に係る調整累計額	△4, 208	△4 <b>,</b> 112
その他の包括利益累計額合計	5, 082	3, 437
非支配株主持分	19, 148	18, 910
純資産合計	172, 300	172, 094
負債純資産合計	491, 533	496, 893

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	前第1四半期連結累計期間	<u>(単位:百万円)</u> 当第1四半期連結累計期間
	(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	174, 143	162, 254
売上原価	140, 281	130, 448
売上総利益	33, 861	31, 806
販売費及び一般管理費	28, 157	27, 554
営業利益	5, 704	4, 251
営業外収益		
受取利息	65	68
受取配当金	95	88
持分法による投資利益	544	924
助成金収入	12	43
雑収入	200	65
営業外収益合計	918	1, 191
営業外費用		
支払利息	401	378
為替差損	124	61
雑支出		49
営業外費用合計	555	490
経常利益	6, 067	4, 952
特別利益		
固定資産売却益	39	175
関係会社株式売却益	9	_
持分変動利益	11	
特別利益合計	61	175
特別損失		
固定資産処分損	75	67
投資有価証券売却損	_	(
投資有価証券評価損	128	53
特別損失合計		121
税金等調整前四半期純利益	5, 924	5,006
法人税、住民税及び事業税	1, 242	1,040
法人税等調整額	1,029	732
法人税等合計	2, 272	1, 773
四半期純利益	3, 652	3, 233
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	3, 619	3, 189

# 四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	(単位:百万円) 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3, 652	3, 233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	207	1, 255
繰延ヘッジ損益	$\triangle 35$	196
為替換算調整勘定	△250	△689
退職給付に係る調整額	△60	96
持分法適用会社に対する持分相当額	189	△2, 470
その他の包括利益合計	50	△1,611
四半期包括利益	3, 703	1,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3, 705	1, 545
非支配株主に係る四半期包括利益	$\triangle 2$	75

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他		調整額	四半期連結 損益計算書	
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計	(注) 1	合 計	(注) 2	⇒1. し 安百
売上高									
外部顧客への売上高	70, 199	88, 008	6, 614	4, 158	168, 980	5, 162	174, 143	_	174, 143
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4, 825	870	77	2, 335	8, 109	496	8, 606	△8, 606	_
計	75, 025	88, 878	6, 691	6, 494	177, 090	5, 659	182, 749	△8, 606	174, 143
セグメント利益	3, 037	3, 333	542	246	7, 160	103	7, 263	△1, 559	5, 704

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。
  - 2. セグメント利益の調整額 $\triangle$ 1,559百万円には、セグメント間取引消去10百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 $\triangle$ 1,569百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
  - 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (固定資産に係る重要な減損損失) 該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動) 該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益) 該当事項はありません。

- Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他		調整額	四半期連結 損益計算書	
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計	(注) 1	合 計	(注) 2	⇒1. し匆百
売上高									
外部顧客への売上高	64, 945	84, 060	5, 466	4, 161	158, 634	3, 619	162, 254	_	162, 254
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3, 904	697	92	2, 358	7, 053	618	7, 671	△7, 671	_
<b>∄</b> †	68, 850	84, 758	5, 559	6, 520	165, 687	4, 237	169, 925	△7, 671	162, 254
セグメント利益	2, 024	3, 093	295	435	5, 848	181	6, 030	△1,779	4, 251

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。
  - 2. セグメント利益の調整額 $\triangle$ 1,779百万円には、セグメント間取引消去 $\triangle$ 24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 $\triangle$ 1,754百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
  - 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (固定資産に係る重要な減損損失) 該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動) 該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益) 該当事項はありません。